

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1199
施設名	このはな保育園
施設所在地	小平市花小金井7-27-1
法人名	社会福祉法人小松福社会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

積み木
-----

<テーマの設定理由>

<p>(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)</p> <p>空洞積み木やネフスピール、重ねカップ、牛乳パック積み木といった玩具を積んだり並べたりする姿が盛んにみられていた。遊ぶ中で量が足りず、遊びたい子が使えなかったり、もっと積んだり並べたりしたい姿が見られていた。量や種類が豊かになった時に子どもたちの遊び方や表現、緻密性、数的な感覚、社会性の広がりに変化が出てくると考え、今回のテーマを設定した。</p>
---

## 2. 活動スケジュール

<p>積み木を購入→部屋に常設→日々の遊びの中で子どもが様々試して遊ぶ。状況に応じて大人が遊びのきっかけを作ったり組み合わせ方等のアイデアを遊びながら提示してみる。</p>
--

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<p>(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・リグノ、ネフスピールを購入し、種類と量を増やした。</li><li>・構造コーナーを広げ、人の出入りの少ない落ち着いて遊べる場所に設定した。</li></ul>
--

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

積み木を使い遊ぶ。子どもの様子を見ながら、序盤は大人が遊び方を見せたり一緒に遊んだりする。段々と大人がいない中でも積み木を使って遊ぶ回数が増え、自分で様々試したり表現したりして遊ぶ姿が見られるようになる。子ども同士で積み合う様子も出てきた。トラブルになることもあったが、大人が仲介しながら遊びを進めることで、一緒に作り上げる姿が出てきた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

積む、並べるを自分が納得いくまで遊びこむ。部屋にあった玩具で積んだり並べたりできそうなものを試す姿が増えた。出来上がったものを「みて」と大人を呼んで共有したり、満足そうに見つめる姿があった。友達と場を共有して積み木を積み合う姿も出てくる。その中でお互いを見合ったり、簡単なやりとりをする様子も見られた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

量や種類が増え、集中して満足のいくまで遊べる環境を整えることで、子どもたちの遊びの広がりや成長を実感できた。繰り返し遊ぶ中できちっと揃えて積んだり並べたり、色で分けてみたり、穴を利用してより複雑な積み方をしてみたり、同じ高さで積んでみたり、中には電車に見立ててみる子がいたり、自分で試行錯誤しながら遊ぶ姿が多く見られた。また、積み木を通してあまり関わりのなかった子どもとも関わる機会ができた、友達を意識し合う姿がでてきたり、やり取りが生まれたり仲間関係が広がっていく様子も実感できた。